社会福祉法人やすらぎ会　広報誌

やすらぎだより

1月号

陽気で緑にあふれた生活　それがやすらぎ園です

〒６３２－０１２２
奈良県天理市福住町５５０４番地
Tel　０７４３－６９－２２１６
Fax　０７４３－６９－２１０１
Mail　yasuragi@crux.ocn.ne.jp
HomePage　http://www.yasuragien.jp
発行元　広報委員会

発行日　令和3年 1月4日

業務執行理事コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第187号

「　牛の歩み　」

業務執行理事　植田　誠

謹賀新年、丑年の新年が明けた。

正月恒例の各所の祭典や参拝とご挨拶訪問、元旦のルーティンが定まって、さて幾年が経過しただろうか。二十年近く私の動きは同じでも、今年の景色は確かに違っていた。コロナ禍で迎えた新春、閑散としながらもどことなく落ち着いた風情に感じ取れたのは、穏やかな上天気だけのせいではないだろう。

心配していた年末年始の雪も然程ではなく、田畑の一角には福住高原特有の残雪が程好く存在感を示しながら、足元には清々しい春の日差しが届く好天の朝、辛丑（かのとうし）の一年が始まった。

思えば昨年は激動の年であった。勿論、コロナコロナで明け暮れた一年なのは申すまでもないが、自身の話で恐縮だが、１１月の入院が何より波乱の一年であったことを私の中で印象付けたと思う。何事にもフットワーク軽くスピーディーさを追い求めてきた私は、ランニングという個人的な土俵と共にそのことを一つの糧とし体現し続けてきた。

降りかかる病に個人では如何ともしがたい現実を知った今、ここは一つ立ち返ろう。恣意的（しいてき）な自身の考えを手放し、「成ってくるのが天の理」を素直に落とし込むこととしよう。身軽で素早いことは今後も抱き続けるが、ゆっくりとそして着実がより重要なことだということを。

丑年の今年、牛の歩みが問われている。動作がのろく進むのが遅い牛、「牛歩」と訊けば国会審議での戦術と答える方は多いが、まどろっこしく‘ちゃっちゃと’を好むスキップ愛好家の私には到底受け入れ難い行為ではある。しかし一歩一歩が大切なのだ、‘牛の歩みも千里’というではないか。何事も速さや近道だけではない、堅実さが問われることを今年は特と胸に収めることとする。

入院中の病室から眺めた天理の街並みと元旦の風情は、意固地な私に大きな気付きを与えてくれた。そして、強がる私は信じて疑わない。決して‘反省’しているのではない、‘悟り’を深めたのだと。

社会福祉法人やすらぎ会　実施事業

- ○特別養護老人ホーム　やすらぎ園
- ○在宅サービス事業所
  - 居宅介護支援事業所
  - 訪問介護事業
  - 訪問入浴介護事業
- ○短期入所生活介護事業
- ○在宅介護支援センター
- ○天理市東部地域包括支援センター
- ○ケアハウス　やすらぎ
- ○介護予防関連事業
- ○グループホーム　むつみあい
- ○住まいの生活支援事業
- ○グループホームなごみ筒井